

審査を終えて

審査する基準は他の絵とそれとの比較で見ていない。手なれた絵、達者な絵を心苦しいが数点、賞からはずした。技術や技法に負けて肝心な表現する人の内面が見えてこない。抽象画に於いては新しい表現だとシャープなものががあればと思うが、中々どこでも今は見当たらない。具象画は手数の入ってるもの、真摯に対象に向かっているものに注目した。デッサンの上手、下手で点数を付けることが一番わかりやすく公平に近いと思われるが、 $1+1=2$ という答ではなく、 $1+1=100$ という飛躍した答が出せる人のほうが絵描きになることにむいている人と思われる。そんなことを思いながら入選・落選・受賞と決めていった。

これまで地方の公募展の審査に出てきたが、20才未満の人と年長者を分けた審査をした経験は、今回が初めてのことだったが、非常に面白く感じた。若い人と年長者の違いは、若い人は描きたいことに直ぐ直進している。それを絵に描こうとする気持ちに非常に純粹さを感じる。

絵が見る者にせまってくる。描き手の生きてる空間が描けている。非常にこわい絵であったり、不安な絵、暗い絵、明るさは狂気な表現だったりする。そしてどの作家も夢中になって描いたり作ったり、塗りたくったり、作品の中に自分が入り込んでいる。暗く描いても、明るく描いても、そこに生命力の強さ、激しさがあり、病的なものではない。若い人の絵は正直面白い。段々年と共に面白くもおかしくもない、技術だけ達者な絵になってくるのだろう。

色々な技法、色々な画材、そして表現の多様化によって現代は評価も様々になった。具象といえば私の周りでは受賞者の大半がプロジェクターや写真で描いている。

このいわき市の出品者にこういった作品がなかったことは、この流行は終わったかと思ったのだが。自分の手で眼で描かないと内容的には段々と貧相な作品になってゆく様に思えるのだが。

2015年2月18日

審査員 福島瑞穂
(美術家)

第44回 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	淨	大内重子	内郷内町
いわき市議会議長賞	袋田の滝	杉本正春	内郷高坂町
いわき市教育委員会教育長賞	風街ろまん・冬の空・ぼくは、きっとかぜをひいてるんです。	小島敦雄	常磐湯本町
《佳 作》			
いわき市文化協会会长賞	私の未来は	佐久間静子	常磐上湯長谷町
福島県報徳社賞	ここに故郷あり、二年目の春	吉田博道	小川町柴原
"	SPIRITUAL	古川美雪	平
"	燐る火種	中田寛二	常磐湯本町
美術館友の会賞	古の記憶	吉田浩二	内郷御台境町
有限会社トーカイ賞	道一飄然	根本裕之	平泉崎
株式会社箱崎美術広告社賞	空飛ぶ車	四家友幸	中央台
椿屋賞	初めの一歩	木村律子	平中神谷
"	薔薇	澤田葵	平下平窪
昭文堂賞	兵隊さん	吉田健人	内郷御台境町
"	俵積	鎌田章代	小名浜下神白
画廊喫茶モナミ賞	古からのメッセージ	濱田正弘	高倉町
ギャラリー磐城賞	Persona	四家友幸	中央台
アートスペース泉賞	マーメイド	仁井田香代子	小名浜
アートスペースエリコーナ賞	夢想の男	田邊香絵	植田町
《特 別 賞》			
青少年(ギャラリーわづくりや)賞	森の中で	大谷一喜	常磐湯本町
青少年奨励(X)賞	薔薇	澤田葵	平下平窪
青少年奨励(X)賞	兵隊さん	吉田健人	内郷御台境町

※青少年賞は、20歳未満の出品者が対象となる。

※青少年奨励(X)賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

審査所感

美術が視覚芸術である以上、その作品には当然の事ながらある種のインパクトが求められます。しかしそれは、単に色彩の強さやコントラスト、恣意的な奇抜さの事をいうのではなく、作者の凛とした気持ちの張りや生き生きとした命の輝き、そして新鮮な価値が作品に宿っているか、という事が重要です。

そのためには何を表現したいのかというテーマ性は大切ですし、またそのテーマを得るために、自分の目が自己の内側だけではなく、外界にこそしっかりと向いていなければなりません。そうする事によって、独りよがりの私的な芸術思考に陥る事なく、新たな展開に向かう事ができるのだと思います。

さて、いわき市立美術館がしっかりとこの地で機能してきたからでしょうか、この市民美術展の審査は他の地方展のそれとは全く一線を画すものでした。とにかくエネルギーにあふれています。表現が自己の解放という側面もあるとするならば、制作に向かうこの活力と自由奔放さは、そのままこの土地の気風を表しているのだと思います。

いわき市長賞の四家友幸さんの「自然の怒り」。補色関係にある赤と緑を大胆に対比させ、自由なストロークにコラージュや彫り、箔の作業を絡め、明快な画面を作っています。構成の意識がやや強すぎるかもしれません、パッチワーク状の画面全体が強く発言をしています。

いわき市議会議長賞の根本裕之さんの「地殻変動」。シルエット状の群衆と不規則に乱立する危うげな街を上下に対比させながら、不安に満ちた現代を象徴的に表現しています。人間のフォルムと白の表現に今一步造形的な確かさが欲しいと思いますが、真摯に画面に立ち向かっています。

いわき市教育委員会教育長賞の「祈り 天空への道」。マニアックな世界観に加え、左右対称の構図によって象徴的で強い表現になっています。それぞれの表現と、画面に大きく浮かび上がる顔という二重構造も効果的です。塗りのクオリティが今一步欲しい所ですが、色彩の対比やリズムも非常に丁寧に吟味されていて魅力的な作品です。

青少年賞の佐藤沙月さん、矢内有紗さん、吉田健人さんの作品はどれも表現に対して純粹で瑞々しく魅力的です。大いなる可能性を感じさせます。

創造する思考・芸術する心は希望そのものです。いわき市、および市美展のますますの発展を願っています。

見応えのある作品群でした。緊張感のある楽しい審査、ありがとうございました。

2016年2月17日

審査員 木原正徳
(画家・二紀会委員・東北芸術工科大学教授)

第45回 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	自然の怒り	四家友幸	中央台
いわき市議会議長賞	地殻変動	根本裕之	平泉崎
いわき市教育委員会教育長賞	祈り 天空への道	江尻敏昭	郷ヶ丘
《佳 作》			
いわき市文化協会会长賞	WALL・壁の彼方へ	高木武廣	小名浜
福島県報徳社賞	追憶のジョン・レノン	大塙浩司	中央台
〃	まど	横山千晶	中央台
〃	明るい農村	あきもとまさあき	勿来町
美術館友の会賞	悠久の刻	清水ナミ子	山田町
有限会社トーカイ賞	誕生	佐藤もと	常磐上湯長谷町
株式会社箱崎美術廣告社賞	刻一軌道	久保木舞	郷ヶ丘
椿屋賞	瀑布へ向かう樹	佐藤沙月	常磐西郷町
〃	憧憬	矢内有紗	平
昭文堂賞	黄昏模様人間	木村律子	平中神谷
〃	作品-14(老境悦楽-2)	伊藤集三	平下神谷
画廊喫茶モナミ賞	スマートルイズム	平賢一	内郷綴町
ギャラリー磐城賞	星を食べてしまった	吉田善二郎	平
アートスペース泉賞	海	鈴木義政	渡辺町上釜戸
アートスペースエリコーナ賞	無題	根本吉夫	内郷高野町
《特 別 賞》			
青少年(ギャラリーわづくりや)賞	サンタの逆襲	吉田健人	内郷御台境町
青少年奨励(X)賞	瀑布へ向かう樹	佐藤沙月	常磐西郷町
〃	憧憬	矢内有紗	平

※青少年賞は、20歳未満の出品者が対象となる。

※青少年奨励(X)賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

審査講評

絵画表現のもっとも重要な事は、その地域の環境や地場（磁場）を、どう自分の心や身体の内に感じとらえ、自己表現するかという点にあるのではないかと思われます。これは世界のすべての国々、そして、今から何万年も前の人類が持ち続けた、人間表現の原理ではないかと思っています。

こんな大袈裟な話から始めてしまい、びっくりされたかもしれません、最近、私が思い続けている事なのです。

今回、いわき市民美術展覧会の審査を依頼され、会場を見た時に感じたのは、まさに、いわきの皆様がそれぞれの自己表現をしているのではないかという事でした。素材や表現方法の制約を乗り越えて、自分自身の個性的表現をしています。特に、立体的な作品には、それを強く感じました。

市長賞を受賞した、鈴木儀一さんの「CORROSION '17- I」は、地元の大きな廃材を思わせる鉄の固まりが、まるで大砲のように横たわり、その鉄の固まりが今のいわきの社会や文化性を表現しているように思われました。今回の展覧会では大賞に値するすごい作品です。

議長賞の平子貞男さんの「想」は、素焼の素材を生かし、表情豊かな少年像の中に今日の少年の不安と期待の思いがとても良く表現されています。また、素焼の土の色が、いわきの色を感じさせます。

教育長賞の佐藤沙月さんの「秋霖の中」は、日本画的表現ですが、現代のいわき市の日常生活風景を生き生きと表現しています。まだまだ技術力は弱いですが、構図や顔の表情などの表現力は、すばらしいものがあります。これから多くの経験をしてもっとすごい絵を描くようになるでしょう。期待しています。

いわき市民美術展を審査して感じたのは、それそれが自分の題材を選び、自分の感じた事を個性豊かに表現している点です。これは人間が有史以来やって来た事です。いわきの皆様は、それを忘れずに表現しています。これは、人間として正しい事です。これに誇りを持って、何かを表現して行きましょう。日本の芸術性をもっと高くして行きましょう!!

2017年2月24日

審査員 河内成幸
(版画家)

第46回 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	CORROSION '17- I	鈴木 儀一	中央台
いわき市議会議長賞	想	平子 貞男	小川町上小川
いわき市教育委員会教育長賞	秋霖の中	佐藤 沙月	常磐西郷町
《佳作》			
いわき市文化協会会长賞	原風景	渡辺 八市	平中山
福島県報徳社賞	流れの秋	小井戸 雅典	常磐松が台
〃	季節の中で	高萩 きよ子	錦町
〃	古の記憶	吉田 浩二	内郷御台境町
美術館友の会賞	COSMOS	猪狩 萌	平赤井
有限会社トーカイ賞	めぶく・ひかり	嶺崎 茂子	小名浜岡小名
株式会社箱崎美術広告社賞	◎	鈴忠壽	鹿島町走熊
椿屋賞	明るい農村(KAKASHI)	あきもと まさあき	勿来町
〃	群鳥	鈴木 幸雄	平下高久
昭文堂賞	再会	橋本 律子	平下平窪
〃	FURUSATO-3	伊藤 集三	平下神谷
画廊喫茶モナミ賞	見つめる	村松 真緒	桜ヶ丘
ギャラリー磐城賞	風のこえ	江尻 敏昭	郷ヶ丘
アートスペース泉賞	時の移ろい 2016/02/23 - 2017/01/16	高木 武廣	小名浜
アートスペースエリコーナ賞	untitled, Pachai Cama	ダビ	好間町榎小屋
《特別賞》			
青少年(ギャラリーわづくりや)賞	みつめる-未来を想う-	上遠野 日向子	平
青少年奨励(X)賞	秋霖の中	佐藤 沙月	常磐西郷町

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

※青少年奨励(X)賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

審査所感

審査会場で最初に全体を拝見してのちに残った印象は、「平明さと屈託のなさ」でした。作品を語る言葉として適しているかどうか、また芸術表現に風土性や地域性がどれほど表われるものかもわかりませんが、いわき市民美術展の作品群の印象は、図らずも表われたいわき気質といえるのかもしれません。

今回、美術展の審査員を初めて経験しましたが、作者名、作品名、年代、性別の一切を事前に知ることはしませんでした。ものを見る際の私自身の指向性の問題はありますが、できるだけ先入観を持つことなく審査に臨みました。

いわき市長賞の高木武廣さんの《標本箱シリーズ「思索する無意識」》は、圧倒的な物質性と秩序化によって、「無意識」の手触りや質量を逆説的に表出していて、作品群の中でも存在感がありました。「思索する時」までも造形化しているようです。

いわき市議会議長賞の佐藤吉尚さんの《秋の頃》は、幕末明治期の精密な工芸作品を本歌取りした感は否めませんが、大らかな虫たちの造形が作者のこだわりとユーモアを醸しだしていて、今日的な表情を持っています。

いわき市教育委員会教育長賞の佐々木寿子さんの《She has a pure heart》は、一見、著名な現代作家の影響を強く思わせますが、柔らかな色調と丁寧な画面作りは、この作者ならではの世界観を滲ませていて、独特的の魅力を持っています。

青少年賞の鈴木天音さんの《予感》は、対象に素直に向き合う純粋さが素朴ながらも伝わってきます。作品が持つ静謐な清浄感は、生来のものかもしれません、これからの創作において大きな魅力になるものと思います。

「表現」とは、心や思いに質量を与え、物理的に在らしめる行為です。テーマ、技術、素材はもちろん大切ですが、結局、作品の魅力とは、作る人、みる人の心を飛翔させる喚起力を備えているかどうかではないでしょうか。今回、いわき市民美術展覧会の審査を通して改めて感じました。

2018年2月21日

審査員 佐治ゆかり
(郡山市立美術館館長)

第47回 絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	標本箱シリーズ「思索する無意識」	高木 武廣	小名浜
いわき市議会議長賞	秋の頃	佐藤 吉尚	小名浜住吉
いわき市教育委員会教育長賞	She has a pure heart	佐々木 寿子	錦町
《佳 作》			
いわき市文化協会会长賞	晩秋の阿弥陀堂	遠藤 敏 親	鹿島町
福島県報徳社賞	こもれび	根 本 吉 夫	内郷高野町
〃	開運の魚	未来野 ひかる	中央台
〃	勇気で太陽(竹アンドン)	滝 田 忠三郎	勿来町
美術館友の会賞	ふるさとの情景	伊藤 集 三	平下神谷
有限会社トーカイ賞	煙草を持つミューズ	佐藤 俊 之	泉ヶ丘
株式会社箱崎美術広告社賞	明るい農村 Part 3(作業ギ)	あきもと まさあき	勿来町
椿屋賞	AM 4:30	田邊香絵	植田町
〃	あの日の海—2018	斎藤 信子	山田町
昭文堂賞	畑のある通り	青木 誠 太	泉町滝尻
〃	特訓	佐藤 善 江	平中神谷
画廊喫茶モナミ賞	灯台の見える昭和の二見ヶ浦	安藤 勇	内郷綴町
ギャラリー磐城賞	CORROSION -'18- I	鈴木 儀 一	中央台
アートスペース泉賞	軌跡	吉田 健 人	内郷御台境町
アートスペースエリコーナ賞	玄黄記 18-02	吉田 成 寿	小名浜下神白
《特 別 賞》			
青少年(ギャラリーわづくりや)賞	予感	鈴木 天音	小名浜玉川町
青少年奨励(X)賞	軌跡	吉田 健 人	内郷御台境町

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

※青少年奨励(X)賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

寸評：第48回いわき市民美術展覧会の絵画・彫塑の部の審査を終えて

審査にあたっての感想を述べてみたい。初めて関わらせていただいたので出品作の印象からであるが、作品数もさることながら、自由に表現していこうというそれぞれの出品者の意気込みを感じられ、感心した。

作品に萎縮した感じがない。型にはまったところがない。やる気が感じられる。それぞれの年齢層で皆元気。

こういった自由な表現の場が市民に開かれて確保されているということは、地域に美術館があることの重要な意義であり、長きに渡って運営されてきた社会教育施設としての公立美術館のもつ効果なのではないかと思った。

いわきの美術館のような地方で数十年の歴史を持つ中規模館は、建築の耐用年数の限度から、改修などの話が浮上し、中には合理化といった意見もあるが、経済的な視点からだけでは判断できない、社会文化的な意義をもっている。

話を戻し、今回の審査にあたって審査員として注意したことがあるので書いてみる。

まず一人の審査員が自分の意志で賞をすべて決めることができるといいういわきの市美展ならではのユニークな賞選びの方法が際立っているので、それをできる限り活かそうと考え、自分の視点を極端でもいいので反映しようと思った。つまり自分なりにテーマを設けた。

その前提から書くが、ポイントは主に二つ。一つ目が、材料、技法の使用の仕方が自由であること。まあ、極論すれば型にはまらずに自分なりの使い方になっている。無手勝流でもいい。もう一つは、前者の条件よりさらに大事なのだが、自由な表現だということ。まあ、前者の当然の帰結ということになるだろうが、技術的には少々下手でもいいから、それを超えて余りある表現欲求があり、そしてそれが世界観にまで到達しているといい。つまり自分の表現したい世界があるということ。世界観をもっているということ。そしてそれがユニークで独創的であるということ。

こんなことを前提にしつつ、さらにこんなテーマを設けている作者の作品を選んだ。

「自分と世界の関わり」。

制作者が世界をどのように眺めているか？ 自分もそこに存在するものとしてどのように世界の中に在るか、あるいは世界にどのように関わっているか？ さらに関わっている世界はどのように在るのか？ 変容するのか？ こういったことを思いつつ、自分と世界の関係という視点で全作品を眺めていった。

さて、実際に選んでいく作業は楽しくも苦しくもあった。「楽し」かったのは、皆さんいろいろな作品を見ることができた点だ。「苦し」かったのは、どれもこれもいいと思うから、その中から、限られた作品を選ばなくてはいけなかったことだ。

まあ、しかし、総じて楽しい作業であった。こんな時間が持てたのも出品してくださった皆さんのやる気のある作品を眺めたからである。皆さん、ありがとう！ ささやかな応援だが、ますますいい作品を制作してください！ がんばって！

2019年2月20日

審査員 秋元雄史

(東京藝術大学大学美術館館長・教授、
綾馬区立美術館館長)

第48回 絵画・彫塑の部 入賞者

賞名	題名	氏名	住所
いわき市長賞	平和への飛翔	神保 隆三郎	平
いわき市議会議長賞	波動	中塚 將太	常磐上湯長谷町
いわき市教育委員会 教 育 長 賞	標本箱シリーズ 「入院生活・チューブのある風景」	高木 武廣	小名浜
《佳 作》			
いわき市文化協会会长賞	輝きたい	根本 佳奈	鹿島町御代
福島県報徳社賞	I Love LuLu	Hashime Kinoshita	四倉町
〃	雨あがり	佐藤 吉尚	小名浜住吉
〃	雨滴	藤於 環	常磐上湯長谷町
美術館友の会賞	シン・カンノン	善ノ二郎	平
有限会社トーカイ賞	巨木の前のおばあさんとしきの王様	芦野 雄大	内郷綴町
株式会社箱崎美術 広 告 社 賞	祈り・りんねてんしょう	江尻 敏昭	郷ヶ丘
椿屋賞	脱出	四家 友幸	中央台
昭文堂賞	●●●	鈴忠壽	鹿島町走熊
〃	春雷	廣木 賢一	平南白土
画廊喫茶モナミ賞	分水靈 2020	吉田 重信	好間北好間
ギャラリー磐城賞	フラダンス奉納	伊藤 弘子	平北白土
アートスペース泉賞	森の精靈一晩秋一	矢部 和子	江名
アートスペースエリコーナ賞	SPIRITUAL	古川 美雪	平
《特 別 賞》			
青少年(ギャラリー わづくりや)賞	5:30の朝焼け	米山 夏生	内郷綴町
青少年奨励(X)賞	波動	中塚 将太	常磐上湯長谷町

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

※青少年奨励(X)賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

審査講評

今回初めて『いわき市民美術展覧会』の審査に参加させていただきました。

応募作品は、造形的にも色彩的にも、現代美術館ならではの新しい斬新な作品が多く、幅広いジャンルから寄せられていました。全体として、風通しの良い爽やかな印象を受けての楽しい審査でした。しかし最後に賞を選ぶために差をつけなければならないという悩ましい役割があります。賞選考は何回も熟慮を重ね、最終的には第一印象として心に残った“感覚的鮮度”を手掛りに選ばせていただきました。

大賞の中塚将太さんの作品は、破天荒な自由さがあり、とても力強い作品に仕上っています。現実と幻想を巧みに織り交ぜ、現代的な感性で表現することによって独自な世界観を創り上げています。賞が決まった後、年齢を見て驚きました。若い!!

四家友幸さんの作品は線をリズミカルに画面に描いています。平面空間における独特的物語性は不思議な感覚を誘い、大気や湿度といったものまでも視覚を通して伝わってくるような感じがしました。今日的な作品です。

佐藤沙月さんの作品は、正面向きの象三頭。しっかりととしたマチエールと象の質感が合って、見ごたえがあります。象の体の中から微かに見え隠れする黒の調子に、混沌とした不安感のようなものが漂います。

いわきの高校生の作品もそれぞれレベルが高く興味深く拝見しました。

この展覧会の特徴としまして（例外もありますが）表現形態は違っても、深い青系・深い赤茶系が美しく、上手い人が多いように思いました。それは審査会場に向かう途中に見えた海や山の景色と重なり、互いに共鳴しあっているようでした。そこに住まう人たちにとって当たり前のように存在する風景等が独自の造形や色彩を生み出していくというのは、自然な事と思います。それらの特性を見つめていくことが、持ち味の強さにも繋がるのではないかと感じました。

最後に今回、賞には入らなかった方の中にも心に残る作品が何点もありました。次回是非、当美術展に挑戦して下さい。“継続は力なり”です。今回、審査に参加させていただきまして、ありがとうございました。

2020年2月19日

審査員 遠藤彰子
(画家、武蔵野美術大学名誉教授)

第49回 絵画・彫塑の部 入賞者

賞名	題名	氏名	住所
いわき市長賞	未来への渴望	中塚 将太	常磐上湯長谷町
いわき市議会議長賞	宇宙速度	四家 友幸	中央台
いわき市教育委員会教育長賞	大地に宿る	佐藤 沙月	常磐西郷町
《佳作》			
いわき市文化協会会长賞	DYSTOPIA Čerenkov放射	吉田 重信	平下荒川
福島県報徳社賞	+	鈴忠壽	鹿島町走熊
〃	世界に平和をジョン・レノン-2020	大塚 浩司	中央台
〃	吾が輩は猫である	木村 律子	平中神谷
美術館友の会賞	私のいわき	幡野 ゆり	平赤井
有限会社トーカイ賞	幻想-18	伊藤 集三	平下神谷
株式会社箱崎美術廣告社賞	秋の譜	若林 喜代子	植田町
椿屋賞	僕自身のための心理療法	高木 武廣	小名浜
昭文堂賞	明日への想い	佐藤 俊之	泉ヶ丘
〃	苔 衣	藤於 環	常磐上湯長谷町
画廊喫茶モナミ賞	ファウスト(二)	野島 美穂	内郷御厩町
ギャラリー磐城賞	軌跡-そして8年-II	佐々木 寿子	錦町
アートスペース泉賞	群青きらめく	廣木 賢一	平南白土
アートスペースエリコーナ賞	1-12-2協奏曲のために(猪苗代湖)	松江 州泰	常磐関船町
ガスワン賞 (常磐共同ガス株式会社)	波動	薄美可	平下荒川
ひまわり信用金庫賞	深食	深谷 天音	平南白土
《特別賞》			
青少年(ギャラリーわづくりや)賞	繋がり	宮崎好美	平北白土
青少年奨励(X)賞	未来への渴望	中塚 将太	常磐上湯長谷町

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

※青少年奨励(X)賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。